



町長室へようこそ No.111

【網走西部流域「北海道立林業大学校」誘致促進期成会要望活動】

9月21日、道の幡宮輝雄水産林務部長に対し、宮川紋別市長、山本興雄地区森林育成協同組合理事長、さらに新沼道議・久保秋道議にもご同行いただき、林業大学校の誘致を要望しました。オホーツク管内を2つの流域に分け、本町が属する遠紋7市町村を網走西部流域と言います。この7自治体と林業関係団体で構成する網走西部流域森林・林業活性化センターが、去る7月31日に当流域に林業大学校を誘致することを決め、市町村及び関係機関が中心となり誘致促進期成会を立ち上げたものです。

国内の林業大学校はここ数年、開学が活発化し新たに11校増え、17校になっています。この背景には、林業を成長産業として位置づけた国の方針が大きく後押ししていることと、長く低迷していた国産材の自給率が上向き、担い手である若手林業技術者の育成・確保に力を入れ始めたことです。北海道でも高橋はるみ知事が3月の道議会で林業大学校の設置を表明し、これに伴い道内では誘致に名乗りを上げるところが出てきました。



◇町長へのメールアドレスは tyoutyou@town.takinoue.hokkaido.jp です。

網走西部流域は今年、国の「林業成長産業化地域」(全国16地域)に北海道で唯一選ばれました。工場整備などハード事業と共に大きな柱として「林業の新たな価値創造を担う人材育成」を掲げ、種苗・造林・造材・製材加工・バイオマスなど林業界が必要とする人材の育成に取り組むこととしていることから、本流域での林業大学校の設置がふさわしいと要望したところです。

幡宮水産林務部長からは、「西部流域は川上から川下まで整っている地域と認識している。道議会でも大学校の質問も出ており、林業事業者がどういう人を求めるかアンケート調査する一方、大学の先生からもどういった人が担い手として必要かの意見を求め、現場のニーズと作る大学校がミスマッチの無いように年度内に構想を固めたい。誘致の要望は他の地域からもきている。水産林務部だけでは決められない」と選定作業はこれからであることを強調していました。

私から「広大な北海道に1校だけつくればいいというものではなく、実践教育に重点を置きながら様々なコースをつくるなど北海道らしい大学校にすべきだ」と提案しました。今後期成会の実務を担う幹事会で具体的な提言をまとめ、引き続き要望することとしています。

滝上町長 長屋 栄一

町長の主な動向(8/16～9/15)

(8月)

18日 民生委員制度創設100周年記念知事感謝状伝達

24日 第3回町民パークゴルフフェスティバル町内会連合会衛生部花壇コンクール審査、飲酒運転根絶キャラバン、第1回滝上町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会

26日 平成29年度遠紋地区市町村議会議員パークゴルフ大会、第56回森の音楽会

27日 平成29年度滝上町ふれあい広場・健康まつり

28日 素材売払見積り合せ、議会全員協議会、網走西部流域林業大学校期成会設立総会(紋別市)

29日 オホーツク圏活性化期成会第5回合同石北線部会(北見市)、滝上高校閉校記念事業協賛会設立総会

30日 滝上高校インターンシップ報告会

31日 工事検定

1日 童話村たきのうえふるさとまつり(9月)

2日 平成29年度第2回紋別地区消防組合議会臨時会(紋別市)

4日 第8回定例会(5/6日)

5日 滝上町まちなか活性化化貨店舗内覧会

6日 滝上町まちなか活性化化貨店舗完成に伴う開店式典

7日 広域紋別病院構成市町村理事者会(紋別市)

8日 第20回滝上町商工会会員親睦パークゴルフ大会

9日 工事検定、オホーツク管内市町村長と商工会長会議(12日、北見市)

10日 2号ポンプ車入魂式、まちづくり連携会議

11日 第10回実践酪農字体験研修交流会

12日 町有林素材売払見積り合せ

13日 工事入札、平成29年度敬老会、平成29年度老人の日記念百歳高齢者等に対するお祝い状及び記念品伝達